

第5章 まとめ

超軽量動力機等の事故は重大な被害を伴います

死亡/重傷事故が54件中42件（78%）

死亡事故 15件（28%）
重傷事故 27件（50%）
その他 12件（22%）

大破/中破事故が54件中47件（87%）

大破事故 39件（72%）
中破事故 8件（15%）
その他 7件（13%）

事故の主な要因は次のとおり

不適切な操縦	40	発見・認知・認識の不足	6
気象の影響	19	低高度で飛行	6
知識・技量・経験不足	19	運用限界の逸脱・確認不足	6
機体・部品の不具合	12	飛行特性	3
安全管理の不備	11	不適切な組立	2
不適切な点検・整備	9	その他	6

安全サイドで判断して行動しましょう！

【機体の維持管理について】

- ①整備マニュアルを入手して内容を理解していますか？
- ②マニュアルや製造者等の指示に従った点検・整備をしていますか？
- ③経年変化を念頭に、小さな異常や状態変化にも細心の注意を払って慎重に点検・整備していますか？

【機体の組み立てについて】

- ①組み立てマニュアルを入手して内容を理解していますか？
- ②マニュアルに従った手順で組み立てていますか？

【飛行前に】

- ①飛行マニュアルを入手して、限界事項や禁止事項を含めた内容を理解していますか？
- ②必要な航空法の許可を取得し、許可条件や飛行マニュアルに従った飛行を計画していますか？
- ③基本的な操縦操作が良く分からない、飛行にブランクがあるなど、飛行に必要な技量が不足・低下していませんか？
- ④整備状況、燃料搭載量、重量・重心位置など安全飛行に必要な事項を確認していますか？
- ⑤気象の現況・予報を、特に風に注意して確認していますか？
- ⑥安全管理規則を守り、シートベルト、ヘルメット、救命胴衣などの安全装備は装着していますか？

【飛行にあたって】

- ①安定した姿勢や速度が維持できていますか？
- ②飛行特性に留意し、急な操作は避けて必要かつ適切な操舵・スロットル操作を行っていますか？
- ③外部、計器を適切に監視して、飛行の状況を適確に把握していますか？
- ④風向・風速など気象の変化に気を付けていますか？

リスクを減らす方法の一つとして、過去の事故事例などからリスクを知り、対策を考えていく方法があります。このダイジェスト以外にも、運輸安全委員会で公表している事故や重大インシデントの調査報告書を、事例研究などに是非ご活用ください。

そのほか、航空局でも安全に関する情報発信を行っています。以下に掲載されている資料も、あわせてご参照ください。

国土交通省ホームページ（超軽量動力機等の安全確保）

https://www.mlit.go.jp/koku/15_bf_000073.html

事故防止分析官のひとこと

スカイレジャーとして愛好されている超軽量動力機等ですが、小型飛行機などと比較したときに、近年の事故件数が多い傾向にあるのは懸念されるところです。事故の要因は様々ありますが、機体の組立・整備や操縦など場面は変わっても、やはり基本に忠実であることが大切だと感じます。いわゆる失敗事例に学びながら、基本的な行動や当たり前の行動の中にある安全を高めるということが、大切なのだと考えています。

ところで、13 ページでご紹介した事故事例 4 では、目撃者が撮影していた動画が事故原因の究明に役立ちました。このように、地上の安全な場所から飛行の状況を撮影しておくことは、自らの飛行を客観的に振り返ることができるので、操縦技量の向上に役立つとともに、ヒヤリとした、ハッとした場面を見返すことによって、事故の芽を摘むために利用することもできます。地上から動画を撮影し活用することも、安全のために有効なのではないでしょうか。

本ダイジェストや事故等調査報告書を、皆様の飛行の安全性を更に高めるために活用され、いつまでも楽しい空を満喫されることを願ってやみません。





日本マイクロライト航空連盟提供

〒160-0004
東京都新宿区四谷1丁目6番1号
四谷タワー15階
国土交通省運輸安全委員会事務局
担当：参事官付 事故防止分析官

TEL 03-5367-5030
URL <http://www.mlit.go.jp/jtsb/index.html>
e-mail hqt-jtsb_bunseki@gxb.mlit.go.jp

「運輸安全委員会ダイジェスト」に関するご意見や、
出前講座のご依頼をお待ちしております。